

会

報

社団法人 日本病理学会  
 〒113-0033  
 東京都文京区本郷 2-40-9  
 ニュー赤門ビル 4F  
 TEL: 03-5684-6886  
 FAX: 03-5684-6936  
 E-mail jsp-admin@umin.ac.jp  
 http://jsp.umin.ac.jp/

社団法人日本病理学会

第 251 号

平成 20 年 (2008 年) 12 月刊

### 1. 病理専門医試験申請の書類作成に関する注意事項について

平成 21 年度からの病理専門医試験の受験申請の際の注意事項が変更されましたので、受験申請予定者につきましては特にご留意くださいますよう、ご通知いたします (変更点: アンダーライン)。

1. 死体解剖資格: 受験申請時に、死体解剖資格を得ていないと受験は認められません。受験の前年度末までに必ず死体解剖資格を得るようにして下さい。死体解剖資格申請を厚生労働省に申請中で、受験資格申請までに間に合わなかった人が申請してくる場合がありますが、この場合も受験資格は認められません。
2. 業績: 受験資格申請に必要な業績は人体病理学に関する論文、学会発表が 3 編以上です。学会発表の場合は必ず抄録の写しを添えて提出して下さい。なお、業績の 3 編すべてが学会発表の抄録のみは不可で、少なくとも 1 編がしかるべき雑誌あるいは“診断病理”等に投稿発表されたものであること、また、少なくとも 1 編が申請者本人が筆頭である必要があります。特に、病理学会以外の学会あるいは地方会での発表抄録の場合は、申請者本人が筆頭であるものに限りません。また、3 編は内容に重複がないものに限りません。  
 原著論文は人体病理に関するものの他、人体材料を用いた実験的研究も可です。
3. 剖検記録: 剖検は申請者本人が自ら行った 50 例で、申請者本人ならびに指導医の自筆署名がなされた正式報告書原本 (施設名が印刷されていること) のコピーとします。患者名はマジックなどで消して下さい。なお、コンピュータで作成された正式報告書では電子署名の他に、申請者の自筆署名をして下さい。

申請の為にワープロなどで新たに作成された剖検報告書は正式書類としては認められません。

4. 迅速診断報告: 患者名はマジックなどで消して下さい。
5. 病理組織診断に関する講習会への参加を証明する書類あるいは参加証の写し: 申請者本人の氏名が記入されたものに限りません。

日本病理学会病理専門医制度運営委員会  
 病理専門医資格審査委員会

### 2. 第 5 回日本病理学会カンファレンス報告

平成 20 年 8 月 1 日～2 日に開催した第 5 回病理学会カンファレンスの実施状況につきまして、報告いたします。

第 5 回病理学会カンファレンス  
 世話人 梅澤明弘

開催日時 平成 20 年 8 月 1 日-2 日

開催場所 湘南国際村センター 国際会議場

開催概要

平成 20 年 8 月 1 日 2 日、湘南国際村センターにおいて、第 5 回病理学会カンファレンスが開催され、盛会のうちに幕を閉じた。本カンファレンスでは「がん」と「幹細胞」をキーワードにその分野の第一線でご活躍の先生方に最先端の知見をご教授いただいた。また、ワインセッションとしてポスター演題発表が行われ多数の先生方にご参加いただき活発な討論を行うことができた。カンファレンス参加者総勢 73 名のうち、病理学会関係者が 89% であった。また、病院関係の参加者が全体の 2 割強を占めた。医療現場の先生方と、研究に携わる先生方との橋渡しとして本カンファレンスは、十分に役割を果たすことができたといえる。会場は、宿泊施設を伴っており、時間を気にせず密な交流が持たれたことは非常に有意義であった。北は北海道、南は

各種募集の締切りは下記の通りですので、ご注意ください

新学術評議員の推薦

平成 20 年度学術奨励賞候補者の推薦

平成 21 年度学術研究賞演説 (A 演説), B 演説の募集

2009 年細胞講習会受講申込み

医師賠償責任保険新規募集

平成 21 年 1 月 31 日 (会報 11 月刊参照)

平成 21 年 1 月 31 日 (会報 11 月刊参照)

平成 21 年 1 月 31 日 (会報 11 月刊参照)

平成 21 年 2 月 7 日 (会報 11 月刊参照)

平成 21 年 1 月 10 日 (パンフレット / 加入申込書送付)

九州の研究者、病院関係者、大学関係者など、普段交流することの少ない先生方との交流機会として大いに役立っていると自負している。本カンファレンスの開催にあたり、社団法人日本病理学会より、多大なご助力を賜った。ここに感謝の意を表し、益々のご発展を祈念するものである。

本カンファレンス特別講演・レクチャーは下記のとおりである。

#### 「平成 20 年度診療報酬の改定」

宇都宮 啓 (厚生労働省保険局)

医療提供体制改革の大部分が平成 19 年 4 月に施行されたが、新たな長寿医療制度 (後期高齢者医療制度) 創設、保険者の再編・統合等の保険関連制度のおもな改革が平成 20 年度の診療報酬改定とともに、この 4 月より施行された。これらの改定に関する趣旨および概要について、行政の最前線の立場からご講演いただいた。

#### 「組織幹細胞、ES 細胞から iPS 細胞へ：幹細胞研究の発展と医学への応用」

中内 啓光 (東京大学)

通常の修復機構では対応できない大きな損傷が起こった場合、現在は人工臓器や臓器移植による治療が試みられる。しかし、人工臓器には生体適合性、代償機能、医療費などの臓器移植には免疫拒絶、ドナー不足、感染といった問題がある。このような状況下、21 世紀の新しい治療法として組織・臓器を置換する代わりに再生させる「再生医療」が注目されている。そのカギを握るのが幹細胞である。本講演では急速に展開しつつある幹細胞の現状と、これらの成果・技術がもたらす新しい医療の可能性についてご講演いただいた。

#### 「microDNA を介した遺伝子発現の制御異常と発がん」

中釜 齊 (国立がんセンター研究所)

がんは、環境中に存在する様々な発がん要因や遺伝的素因、さらにはこれらの相互作用により惹起される遺伝子変異やエピジェネティックな変化が、多段階的にゲノム中に蓄積することにより発生すると考えられている。本講演では近年新たに存在が明らかになってきている microRNA, snRNA などの機能性 non-coding RNA による遺伝子発現の新たな制御機構について最新の研究成果をご発表いただいた。

#### 「Akt の新規基質 Girdin の細胞運動と血管新生における役割」

高橋 雅英 (名古屋大学)

Protein kinase B/Akt (以下 Akt と呼ぶ) はセリン、スレオニンキナーゼであり、細胞増殖、生存などに重要な役割を果たしていることが明らかになっている。本講演では、

増殖因子刺激後 in vivo でもリン酸化が観察されることから、Akt の新規基質であると考えられる事と、Girdin が血管内皮細胞の運動能を制御することにより、血管新生に関与している事を中心にご講演いただいた。

#### 「腫瘍幹細胞マーカーについて」

森井 英一 (大阪大学)

腫瘍幹細胞は自己を複製すると同時に腫瘍全体の多様性を産み出す細胞とされている。腫瘍に対する化学療法では大半の腫瘍成分は死滅するが、化学療法に対して抵抗性である腫瘍幹細胞は死滅せず、その結果残存した腫瘍幹細胞から再び腫瘍が形成され再発がおこると考えられている。腫瘍幹細胞の機能を解析する上での問題点および治療への影響を具体的にご発表いただいた。

#### 「固形癌における癌幹細胞研究」

森 正樹 (大阪大学)

腫瘍を構成する細胞は、等しく腫瘍形成能を有するのではなく、形成能を有する細胞と、そうでない細胞からなるとの仮説がある。形成能を有する細胞は癌幹細胞と考えられ、ここ数年注目されている。本講演では固形癌における癌幹細胞研究の現状と展望についてご講演いただいた。

#### 「PTEN/PI3K シグナルと幹細胞システム」

仲野 徹 (大阪大学)

PI3K (フォスファチジルイノシトール 3 リン酸キナーゼ) は、ホスファチジルイノシトール-4,5-二リン酸 (PIP2) をリン酸化して (PIP3) を産生する酵素であり、種々の受容体からのシグナルを伝達する。PTEN はヒトの悪性腫瘍の半数以上において変異が認められるがん抑制遺伝子であり、PIP3 を PIP2 に脱リン酸化することにより PI3K の機能を負に制御する。本講演にて幹細胞システムにおける、PI3K および、その下流分子であるセリン・スレオニンキナーゼ Akt の解析による PTEN/PI3K シグナルの、組織幹細胞、多能性幹細胞の維持・分化における機能をご発表いただいた。

### 3. 化学物質による労働者の健康障害防止に係るリスク評価検討会報告書について (医療現場におけるホルムアルデヒドについて)

標記の報告書が下記の厚生労働省ホームページに掲載されておりますので、ご参照ください。

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/10/s1027-15.html>

### 4. 会員の訃報

小沢 啓邦 学術評議員 (平成 20 年 10 月 8 日ご逝去)